

しゅん工・操業に向けた様々な取り組み

＜低レベル放射性廃棄物埋設センター 3号埋設施設の本格工事開始＞

3号埋設施設の準備工事では、延べ約8千人、10トンダンプ換算で約9万台分の土砂を掘削・運搬し、岩盤まで掘り進めました。ご協力いただきました地元企業の皆さまに、感謝申し上げます。10月26日から開始した岩盤検査※に合格後、11月中旬から本格工事を開始します。

※岩盤検査：岩盤の強度が基準値以上であることや岩盤が設計値以深（地表から21m下）に位置していることなどを検査する。



10月26日の岩盤検査の様子（岩盤面の深さを測量により確認している様子）

【今後の工事の流れ】

今後は、岩盤へのコンクリート打設、ピットの底版コンクリート打設、といった流れでピット構築工事を進めていきます。まず1つのピットを完成させ、その後、順次ピットを増設し、最終的に8つのピットを構築します。



①岩盤へのコンクリート打設



②ピットの底版コンクリート打設



③ピットの側壁等のコンクリート打設



④ピットの底版部に集水機能のあるコンクリートを据付



⑤完成



3号埋設施設の配置

※①～⑤の写真は2号埋設施設の工事の状況

2023年度の操業開始に向けて、審査で約束した安全対策をしっかりと現場に反映させ、地域の皆さまにご安心いただける安全な施設を作り上げてまいります。